

一本木地域

幸せづくり活動プラン

～豊かで、明るく、健やかに～

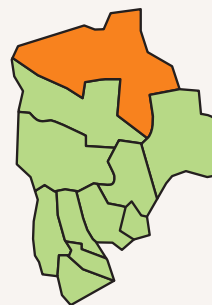


目指す!
地域の姿

岩手山麓に開き行く、みどりの里 一本木

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、岩手山麓に陸上自衛隊岩手駐屯地があり、地域内を走る国道282号の東側は水田、西側は畑地に利用され、沿線に集落を形成しています。地域には、一本木郵便局、青少年交流の家、北部コミュニティセンターなどの公共施設が設置され、住民の利便性の向上に寄与しています。今後は一本木バイパスの全線開通により豊かで、明るく、健やかな地域づくりが進められます。

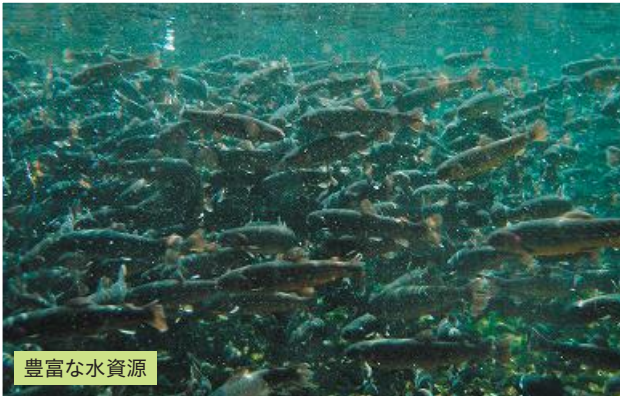


- 一本木地域づくり懇談会(南一本木自治会、北一本木自治会、いずみ巣子ニュータウン自治会)
【計画期間:平成27年度～平成34年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



豊富な水資源



角掛神社をはじめとする歴史ある神社



元気な子どもたち保育園・小学校・中学校



肥沃な農地



みんなでつくる一本木秋まつり



陸上自衛隊岩手駐屯地

2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

一本木地域の情報

	一本木地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	2,225	4.0%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	686	3.1%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	194	28.3%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	98	14.3%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	1,724	6.3%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	180	10.4%	1,399	5.1%		
2次産業	306	17.7%	6,100	22.4%		
3次産業	1,238	71.8%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	1,670	3.1%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	26	1.2%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	143	6.4%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	212	9.5%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	284	12.8%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	460	20.7%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	545	24.5%	13,332		24.4%

一本木公共施設情報

※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
一本木保育園	柳原74-1	688-2662	一本木駐在所	後290-36	688-4054
※一本木小学校	柳原22	688-4253	一本木郵便局	留が森347-125	688-4830
※一本木中学校	巣子148	688-4634	青少年交流の家	後292	688-4221
一本木学童保育クラブ	柳原197	688-0920	※北部コミュニティセンター	巣子148	688-5111

3

私たちの
地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政の連携、行政の検討課題)

重要度

- ① 一本木バイパスの早期全線開通が望まれます。
- ② 若手就農者確保と魅力ある農業経営環境が求められます。
- ③ 老朽化した集会施設改修の支援が必要です。
- ④ 演習場など防衛施設の障害防止対策が求められます。
- ⑤ 適切な生活雑排水処理による環境保全の取り組みが求められます。
- ⑥ 健康増進遊具の設置や設備の更新が必要です。
- ⑦ 地域高齢者介護施設の整備が必要です。
- ⑧ 国道へ視認性のよいガードレールの設置が急務です。
- ⑨ 上水道の整備されていない地域の解消が必要です。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 高齢者・要支援者の見守り活動に取り組みます。
- ② 安心して子育てできる環境を目指します。
- ③ 国道282号の速度制限に向け地域での合意形成を図ります。
- ④ 地域の集会施設の適正な管理運営に取り組みます。
- ⑤ 通学路の交通安全の確保に取り組みます。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

子どもたちや高齢者等が楽しく安全に暮らせる、人と人のつながりが強い地域にしよう

- ▶ 1. 子どもやお年寄りを含めた歩行者の安全確保のため、通学路などの草刈、ゴミ拾いを地域協働で行います。
- ▶ 2. 快適な生活環境の確保と地域の環境保全のため、適切な生活雑排水処理についての啓発に取り組みます。
- ▶ 3. 子どもが安全に遊び、高齢者など地域住民の誰もが、気軽に利用できるよう、定期的に集会所や公園の清掃を行います。
- ▶ 4. 児童が放課後安心して過ごせる学童保育クラブを地域で支援します。
- ▶ 5. 地域内の通学路などで防犯上の危険箇所の情報共有を図ります。
- ▶ 6. いきいきサロンなど高齢者が楽しめる機会を増やします。
- ▶ 7. 独居高齢者、要支援者宅などの見守り体制をつくります。

基本方針 2

農業地域と住宅地域の交流を図り、活力あるコミュニティをつくっていこう

- ▶ 1. 3自治会で親睦を深める機会を設けます。
- ▶ 2. 子ども会の資源回収活動に協力します。
- ▶ 3. 地域の集会施設の計画的な改修を実施します。
- ▶ 4. 消防団活動への理解と加入促進の活動を支援します。
- ▶ 5. ガーデニングや家庭菜園に地域の堆肥を活用します。
- ▶ 6. 地域みんなで「一本木秋まつり」を実施します。
- ▶ 7. 子育て世代のネットワークづくりを支援します。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

- ①幸福感を育む象徴的要素
(子どもに)みんなが笑顔で接してくれること
- ②象徴指標
子どもと一緒に過ごす時間(1週間)
- ③活動モデル
大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける

- ④どのように具体的に取り組むか
元氣よく挨拶をする
- ⑤活動団体・組織
保育園、PTA、自治会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

- ①幸福感を育む象徴的要素
(子どもが)夢中になって取り組めることがあること
- ②象徴指標
子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合
- ③活動モデル
努力を家族が応援してくれる

- ④どのように具体的に取り組むか
運動会や学習発表会、文化祭には、家族みんなが見に行く
- ⑤活動団体・組織
一本木小学校・中学校、PTA、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

- ①幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんと交流の機会があること
- ②象徴指標
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③活動モデル
地域のお祭りやサークルなどに参加する

- ④どのように具体的に取り組むか
地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える
- ⑤活動団体・組織
秋まつり実行委員会、自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること

② 象徴指標

参加したいと思える地域行事の数

③ 活動モデル

近所の子どもと顔見知りになる

④ どのように具体的に取り組むか

大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける

⑤ 活動団体・組織

保育園、PTA、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

老後の生活設計が描けること

② 象徴指標

老後の生活設計に不安がない人の割合

③ 活動モデル

積極的に近所の方々の顔を覚え、挨拶をする

④ どのように具体的に取り組むか

地域活動に参加してみる

⑤ 活動団体・組織

まちづくり推進委員会、自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

① 幸福感を育む象徴的要素

いざという時にも、助け合える繋がりがあること

② 象徴指標

いざという時に、頼れる相手がいる人の割合

③ 活動モデル

ひとり暮らしの世帯を把握している

④ どのように具体的に取り組むか

普段から挨拶を心掛け地域のつながりを育む

⑤ 活動団体・組織

老人クラブ、民生児童委員、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	(子どもに) みんなが笑顔で接してくれること	(子どもが) 夢中になって取り組めることがあること	地域の皆さんと交流の機会があること	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること	老後の生活設計が描けること	いざという時にも、助け合える繋がりがあること
Point						↘
象徴指標	子どもと一緒に過ごす時間(1週間)	子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人割合	地域のお祭りや行事に参加した回数	参加したいと思える地域行事の数	老後の生活設計に不安がない人の割合	いざという時に、頼れる相手がいる人の割合
活動 モデル	大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける	努力を家族が応援してくれる	地域のお祭りやサークルなどに参加する	近所の子どもと顔見知りになる	退職前後、積極的に近所の方々の顔を覚え、挨拶をする	ひとり暮らしの世帯を把握している
Point						↘
どのように具体的に 取り組むか	元氣よく挨拶をする	運動会や学習発表会、文化祭には、家族みんなが見に行く	地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える	大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける	地域の行事に参加してみる	普段から挨拶を心掛け地域のつながりを育む
活動団体 組織	保育園 PTA 自治会 ほか	一本木小学校・中学校 PTA 子ども会育成会 自治会 ほか	秋まつり実行委員会 自治会 ほか	保育園 PTA 子ども会育成会 自治会 ほか	まちづくり推進委員会 自治会 ほか	老人クラブ 民生委員 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	・ 一本木地域まちづくり推進委員会設立 (南一本木、北一本木、いずみ巣子ニュータウン自治会)
2004年 (H16年)	・ 通学路草刈、清掃活動実施、現在まで活動継続
2005年 (H17年)	・ 一本木地域通学路安全対策事業 (交通安全啓発看板を設置) ・ 北部コミュニティセンター前に防雪ネット設置
2006年 (H18年)	・ 一本木中学校通学路立木の枝払い・間伐事業 (通学路脇の立木を高所作業車使い伐採作業実施)
2008年 (H20年)	・ EM 菌についての勉強会開催
2009年 (H21年)	・ 一本木地区コミュニティセンター完成、供用開始 ・ 大相撲大関日馬富士一本木地区コミュニティセンター来訪
2010年 (H22年)	・ 大川地区コミュニティセンター完成、供用開始
2011年 (H23年)	・ 地域コミュニティ活性化事業 (秋祭り用の排水設備、かまどベンチを設置)

一本木地域づくり懇談会

南一本木、北一本木、いずみ巣子ニュータウン各自治会役員、一本木防犯交通安全協会、民生児童委員、交通指導員、子ども会育成会、老人クラブ、消防団第6分団、一本木小学校、一本木中学校、各小中学校PTA、一本木学童保育クラブ、一本木保育園（順不同）